



9月1日は防災の日！

ここ数年、地震や豪雨などの大規模災害が全国各地で発生しています。新型コロナウイルスの影響で、マスクや消毒液が店頭から消えたことは記憶に新しいですが、災害が起こると被災地はもちろん、その他の地域でも流通が滞り、生活に必要なものが手に入りにくくなります。災害が起こった時を想定し3日分～1週間程度の備蓄食を用意しておくといよいでしょう。

家庭で備えておきたいもの

水

🏠 調理に使う水も含め、1人1日3ℓが目安です。

食料品

🏠 米や乾物など、保存性の高い食品を多めに買い置きし、使ったら買い足す「ローリングストック」で、無理なく備えましょう。

🏠 災害時には、栄養バランスの偏りによる体調不良も心配です。主食・主菜・副菜となる食品をそろえておきましょう。

🏠 甘い物や食べ慣れているお菓子には、不安な気持ちを和らげてくれる効果もあります。

カセットコンロ・カセットボンベ

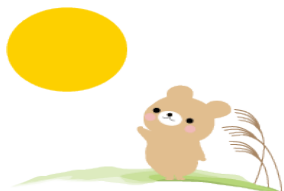
🏠 ボンベは1週間当たり1人6本程度必要です。

毎月18日は「とちぎ地産地消の日」

地産地消とは、その地域で生産された農産物や畜産物をその地域で消費することです。学校給食では、栃木県産の食材を豊富に使用しています。

【地産地消のメリット】

- ★新鮮で安心安全な食材を味わえる
- ★エネルギー消費や温室効果ガスを削減できる
- ★食料自給率が上がる



今年の十五夜は、
9月29日(金)です。